

1 努力点テーマ

できる楽しさ、分かる喜びを創り出す教育課程を目指して
 — 教育活動全体の見直しを図る組織づくりと実践 —

2 31年度実践の概要

いよいよ小学校では、新学習指導要領の完全実施が来年度に行われる。大きな学習内容の変更点として次の3つが挙げられる。①道徳の教科化、②外国語の教科化、③プログラミング教育の導入、である。本校では昨年度、①道徳の教科化を見据え、9月の授業参観で授業を公開し新学習指導要領の完全実施に向けて準備を整えてきた。しかし、②外国語の教科化、③プログラミング教育の導入への準備はまだ十分に整っているのはいがたい。そこで、今年度は②外国語の教科化、③プログラミング教育の導入に向けて準備を整えていくこととする。

加えて、新学習指導要領では授業時数が大幅に増加している一方で、働き方改革の流れの中で効率よく業務を進め、生み出した時間の中で質の高い授業を行うことが求められている。そのためには、本校がこれまでに培ってきた教育内容を精選し、向上していく必要がある。そこで、学校の教育目標の実現に向けて、子どもや地域の実態を踏まえて教育課程を編成・実施・評価し、改善を図るための組織づくりと授業づくりを行っていくこととする。

3 目指す子どもの姿

【学校教育目標】
 自分が好き・友達が好き・学校が好きな白鳥っ子
 自ら進んで考え行動し、よりよい自分づくりを目指す子
 責任感と思いやりをもち、よりよい人間関係づくりを目指す子
 歴史や伝統に誇りをもち、よりよい学校づくりを目指す子

4 組織図 (イメージ)



☆ 校長、教頭、教務主任、校務主任、努力点部会、キャプテン、学年推進委員以上をもって、努力点推進委員会を構成する。

4 部会・チームのミッションとキャプテン

部会・チーム名	ミッション	キャプテン	メンバー			
			低	中	高	0
総合的な学習	活動実態調査 新カリキュラムの作成					
特別活動	主体性を生かした集会 縦割りを取り入れた集会					
体力・健康	器具の活用 授業の改善 健康授業 家庭生活改善 防災訓練					
基礎・基本	実態調査 習熟度授業 居残り指導 宿題の在り方 スタンダードの改善					
外国語	担任の授業公開 評価					
プログラミング	現職教育 授業公開 全学年施行					
特別支援	支援計画の作成					

5 授業実践（教職員への公開）

- 【ねらい】 ① 各部会・各チームで検討してきた内容への共通理解を図り、スタンダードの改善に役立てる。
- ② 授業実践を通して、「自分が好き・友達が好き・学校が好きな白鳥っ子」の実現を目指す。

- ☆ 所属している各部会・各チームの中から一人一授業実践を公開する。
- ☆ 授業を公開する際は、指導の重点を事前に全職員に知らせる。
- ☆ 初任研の師範授業等の授業実践と兼ねることもできる。
- ☆ 上記の授業実践も含め、一人一指導案を基に授業実践を行う。

部会・チーム名	授業例
総合的な学習	地域人材（ゲストティーチャー）を活用した生活科・総合の授業
特別活動	集会の見通しをもち、意欲を高める授業 代表委員会による話し合いの授業 集会後の振り返りの授業
体力・健康	器具を活用した体育の授業 養護教諭と連携した保健の授業
基礎・基本	習熟度別の算数の授業
外国語	担任が主となる授業 担任のみによる授業
プログラミング	ソフトを使った授業 ソフトを使わない授業
特別支援	なかよし・ひかり・ウイングでの授業 交流学級での授業

